

令和7年度 事業計画書

学校法人加茂暁星学園 法人

設置する 学校・学部・学科	新 潟 経 営 大 学	経営情報学部 経営情報学科 スポーツマネジメント学科		
	新潟中央短期大学	幼 児 教 育 科		
	加茂暁星高等学校	普 通 科 看 護 科		
役員組織等 ()は前年度	理 事	監 事	評 議 員	備 考
	1 2 (1 2)	2 (2)	2 7 (2 7)	
職員組織 ()は前年度	専 任 職 員	臨時職員等	備 考	
	2 (2)	1 (1)		
1 建学の精神 【業学一如：ぎょうがくいちにょ】 「学は業のためにあり、業また学でなければならないのである」(創設者 西村大串) 2 学園の使命 「実践的教育と地域に根差した研究・地域貢献活動を通じ、地域の発展に貢献する人材の育成をする。」を果たすため、法人の財政及び経営状況を的確に把握し問題点の解決に努める。 また、学生・生徒に魅力ある教育内容の充実・強化を図る。 3 新たな中期計画（令和7～11）の策定と実行 ① 中期経営計画、地域連携計画、スポーツ振興計画の推進 ② 少子化の状況を見据えた学生・生徒の確保と定員充足への対応 ③ 安定した経営基盤の確立 ④ 耐震等踏まえた校舎のあり方検討 ⑤ 新給与・人事制度の実施 4 管理・運営の強化 ① 法人事務局体制の強化 ② 法人と各部門との連携強化 ③ 諸規程の見直しと統一的な運用の検討 ④ 私立学校改正に伴う内部統制システムの構築 5 法人が設置する学校間の連携強化と地域貢献 ① スポーツを基軸とした高校・短大・大学の連携強化 ② 系列校からの入学者増加対応策の検討 ③ 大学・短大・高校で共同した地域貢献を推進するため、法人が窓口となる地元自治体との包括連携協定の推進				

令和7年度部門別事業計画書

学校法人加茂暁星学園

部 門 名		新潟経営大学							
部門内容 ()内は前年度	学部・学科名等		入学定員	収容定員	1 年	2 年	3 年	4 年	合計
	経営情報学部	経営情報学科	120 3 年次編入 15	720	105 (106)	105 (121)	120 (69)	69 (76)	649 (605)
		スポーツマネジメント学科	50 3 年次編入 5		65 (63)	63 (76)	75 (47)	47 (47)	
教員組織 ()内は前年度	専任教員数			非常勤講師等				備考	
	30(30)			15(17)					
職員組織 ()内は前年度	専任職員			臨時職員等					
	34(30)			4 (4)					
教育目標		なりたい自分になれる大学 ― 学生成長力 No.1 の大学をめざす ― 学生の個性と潜在能力を引き出し、学生がなりたい自分になれるための支援を行います。 【教育・研究における重点項目】 ○新たな情報化社会にたくましく生き抜く主体性と創造力のある学生を育成する。 ○地域の課題を解決し、地域の活性化に資することを中心とする独創的な研究活動に取り組む。 【地域貢献における重点項目】 ○地域に根差す大学の使命をもち、大学の知見を地域に還元すると共に地域の活性化のために実践する。 ○産官学連携・高大連携等地域とのつながりを深め、新たな教育・新たな地域社会の創造へ挑戦する。							
学生・生徒確保の見通し		令和7年3月26日現在の入学手続者数は165人である。3月中の選抜試験を受けて、引き続き、170人を目標に入学手続者数の確保に努める。							
教育研究に係る最重点事業		1 入学者確保に向けた新たな受け皿づくり 少子化が進む中で、今後の入学者確保に向けて、新たなスポーツ強化指定部を創設するなど、本学の強みを活かした新たな受け皿づくりを推進する。 2 学習環境としての情報化基盤（ネットワーク設備の更新）							
施設設備に関する最重点事業		1 施設設備の更新（公用車、厨房設備等の更新） 2 2号館の有効活用							
地域貢献に関する最重点事業		1 地元自治体との包括連携協定に基づく各種事業の推進 2 地域活性化研究所による貢献（公開講座の開設等）							

中期的な計画及び事業計画の進捗状況

新潟経営大学中期計画（第2期）

計画期間は、2025年度～2029年度とする。

- ・ 募集定員充足率 100%
- ・ 収容定員充足率 100%
- ・ 希望者就職決定率 100%

（1）施策体系

- 【カテゴリー1】教育力の強化
- 【カテゴリー2】研究力の強化
- 【カテゴリー3】学生支援の強化
- 【カテゴリー4】地域貢献・産官学連携の推進
- 【カテゴリー5】高大連携・大学間連携の推進
- 【カテゴリー6】入学者の確保
- 【カテゴリー7】広報戦略の強化
- 【カテゴリー8】教職員のモチベーションの推進
- 【カテゴリー9】財務基盤の強化
- 【カテゴリー10】スポーツ資源の活用

（2）進捗状況

指標の推移	2021	2022	2023	2024
募集定員充足率 100%	69.4%	74.1%	114.7%	99.4%
収容定員充足率 100%	69.0%	70.7%	77.6%	84.0%
希望者就職決定率 100%	93.8%	97.5%	98.1%	99.3%

令和7年度 部門別事業計画書

学校法人加茂暁星学園

部 門 名	新潟中央短期大学								
部門内容 ()内は前年度	学部・学科名等	入学定員		收容定員	1 年	2 年	3 年	4 年	合計
	幼児教育科	1 年生 2 年生	7 5 7 5	1 5 0	3 4 (40)	3 9 (74)			7 3 (114)
教員組織 ()内は前年度	専任教員		非常勤講師等			備考			
	1 1 (1 1)		1 7 (2 2)						
職員組織 ()内は前年度	専任職員		臨時職員等						
	7 (8)		1 (3)			臨時職員は図書館学生アルバイト職員			
教育目標	「子どものために 子どもと共に 学びつづける保育者」 ○主体性を持ち、多様な人々と協働して生きていく態度・力を育てる ○ミュージカル、出前保育といった実践的学びの場を重視し、創造的な体験を通じて、主体性・協働性・問題を共に解決する力を養う こうした本学における学びを実践に生かし、さらに、実践からも学ぶ「子どものために 子どもと共に 学びつづける保育者」を育成する								
学生・生徒確保の見通し	令和7年度入学手続き予定者数：34人前後 ※内10人は納付金減免者（系列校減免4人、卒業生等の子減免6人） ※入学辞退手続締切日：3月28日（金）								
教育・研究に関する最重点事業	○学生に寄り添い、学生を大切にする大学をめざし、教職員一体となった学生の育成体制を強化する ○令和4年度から導入したチューター制とハウス制を引き続き実施し、教育内容の充実と、さらなる向上を目指す ○学びを実践に生かし、実践から学ぶことを推進し、現場経験を持つ実務家教員の充実 ○保育現場に即した研究の推進								
施設・設備に関する最重点事業	○財政状況を考慮しながら、大学と協力した体制により、通学環境および学習環境の整備強化、そして、施設設備の維持管理を行う ○中期経営計画および校舎等における耐震化完了計画に基づき、旧校舎の耐震整備・維持に関する経費について引き続き検証していく								
地域貢献に関する最重点事業	○地域の子育て支援の拠点としての機能強化 ・保育者不足改善の一助と資するため、小中学校対象の学校見学プログラムの実施 ・現場で活躍する保育者と短期大学の連携を強化し、課題を共有し合い、共に学ぶ保育者支援事業の促進 ○教職員の地域社会への貢献活動強化 ・保育者の資質向上を目的とした園内研修等に対する講師派遣 ・保護者や子どもが抱える発達やメンタルヘルスに関する課題への講師派遣 ・現職保育者向けのリカレント教育（学び直し）プログラムの提供 ○自治体・各種団体との協定の強化 ・地域と連携し、実践的な現場体験を通じた学生の学びの促進（出前保育や中短ミュ								

	ージタルなどの活動を通じた地域交流) ・自治体・各種団体と連携・協力し、子どもと家族が共に楽しめる環境整備の推進	
中期的な計画及び事業計画の進捗・達成状況	第1期計画（令和2年度から6年度）に続く計画として、令和7年度から5年間の新たな中期計画、第2期中期計画を策定。大項目としては「募集定員の確保」及び「財政基盤の健全化」を引き続き掲げる。	
	【計画の体系】	
	1．募集定員の確保	
	＜カテゴリー＞	＜重点目標＞
	1. 建学の精神、教育理念・目標の定着	(1)学内における理解の定着
		(2)学外への広報活動強化
	2. 内部質保証の取り組み強化	(3)自己点検・評価の活動の強化
		(4)卒業後の評価の教育への取り組み
	3. 学科教育課程の再編	(5)カリキュラムの点検と教員規模の検討
		(6)長期履修制度導入の検討
		(7)収容定員の見直し
	4. 教育目標に基づく特色ある教育プログラムの策定	(8)入学前教育、入学予定者への支援の充実
		(9)教育成果の検証による教育力の向上
	5. 学生支援の強化	(10)合理的配慮に基づく、多様化する学生への対応強化
		(11)退学率の減少
		(12)同窓会、保護者会等との連携強化
		(13)事務職員の学生支援のための行動方針の策定
	6. 学修環境の強化	(14)通学環境の改善強化
		(15)大学とあわせた学習環境の整備の強化
	7. 入学者確保の強化	(16)入試制度改革の実行
		(17)広報戦略の強化
		(18)系列校との提携
		(19)大学強化指定部と連携した入学者の確保
	8. 高大接続の強化	(20)系列校をはじめとする連携の強化
	9. 地域貢献活動の強化	(21)地域の子育て支援の拠点としての機能強化
		(22)教職員の地域社会への貢献活動強化
		(23)自治体、各種団体との協定の強化
2．財政基盤の健全化		
＜カテゴリー＞	＜重点目標＞	
1. 経常収入の増加	(1)外部資金の獲得	
	(2)学納金の見直し	
	(3)収支構造の見直し	
2. 経常支出の削減	(4)事務組織生産性の向上	

部 門 名	加 茂 暁 星 高 等 学 校								2 月 末 現 在
部門内容 ()内は前年度	学部・学科名等	入学定員	収容定員	1 年	2 年	3 年	専攻科		合計
							1 年	2 年	
	普通科	160(160)	480(480)	121 (145)	168 (112)	108 (91)			397 (348)
	看護科	40 (60)	300(320)	36 (39)	37 (29)	29 (49)	47 (28)	25 (33)	174 (178)
	計	200(220)	780(800)	157 (184)	205 (141)	137 (140)	47 (28)	25 (33)	571 (526)
教員組織 ()内は前年度	専任教員数		非常勤講師等		備考				
	34 (34)		50 (50)						
職員組織 ()内は前年度	専任職員		臨時職員等						
	7 (6)		4 (4)						
教 育 目 標	○徳育・知育・体育において、仏教精神にもとづく人間形成、高校生としての基礎学力の修得、健やかな体力づくりを目指す。特に時代の急速な変化に伴う上級学校進学率の向上、情報化、国際化、高齢化時代の対応を踏まえて、必要な教育施設の充足及び幅広い教育課程を採用して、大学を併設する私学としての特色を発揮してゆく。								
学生・生徒確保の見通し	○急速な少子化が進行する中で、将来社会を見据え、生徒や保護者から選んでもらえる学校を目指す。 ○令和7年度から、単位制による全日制課程普通科への改組を行うことで、留年制度が無く、幅広い科目提供を行うことを可能とし、生徒確保へ繋げる。また、学年制による全日制課程看護科及び看護専攻科の入学者が減少傾向にあることから、その定員を60人から40人に減じることで充足率の低下を抑える。 ○令和8年度から、通信制課程普通科を新設する為の準備を行う。なお、通信制課程は、新規中学校卒業者の募集を行わず、本校全日制課程に入学した生徒に限り転籍可能とするが、これにより転退学による生徒減を抑える効果を期待する。								
教育研究に関する最重点事業	○建学の精神のもと、社会に貢献し、活躍できる人材を育成する。 ○社会人として評価される非認知能力身につけた人材を育成する。 ○通信制設置に向けての準備								
施設・設備に関する最重点事業	○生徒及び教職員の命を守る為の校舎は、教育機関として備えるべき最低限の条件であることから、老朽化した校舎の今後のありかたについて早急に検討を行う。 ○施設・設備等の維持・管理は安心・安全を第一とする。								
地域貢献に関する最重点事業	○加茂市と連携した地域活性化活動に取り組む。 ○地域包括ケアを踏まえた地域連携による看護人材を育成する。 ○部活動を通じたスポーツ振興や地域連携活動に取り組む。 ○地域人材を活用した学習活動を進める。								
中期的な計画	○教 学……シラバスや観点別評価に基づき授業を行う。 ○人 事……生徒募集に繋がられる人材を育てる。人事制度の構築 ○施 設……老朽化した校舎について、今後の方向性を検討。耐震化計画の立案 ○財務等……引き続きプライマリーバランス0に向け収支の改善につとめる。								